

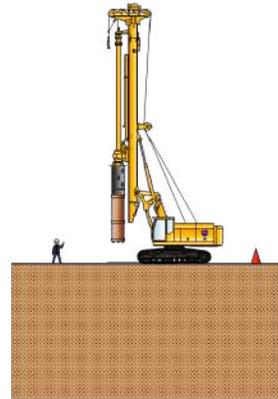
BG工法

1 定規鉄板セット



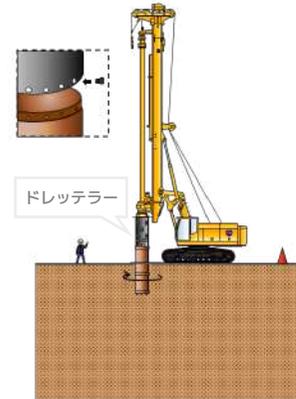
定規鉄板を削孔位置に合わせてセットする。

2 ケーシングセット



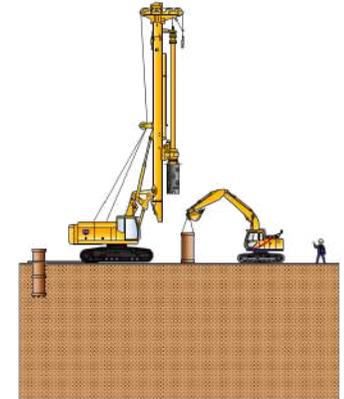
本体機を据付け、定規鉄板の穴に合わせてケーシングをセットする。

3 ケーシング削孔



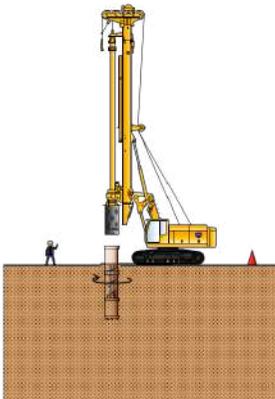
ケーシングを回転圧入し、完了後ケーシングロックピンを外し、ドレッテラーからケーシングを取り外す。

4 ケーシングジョイント



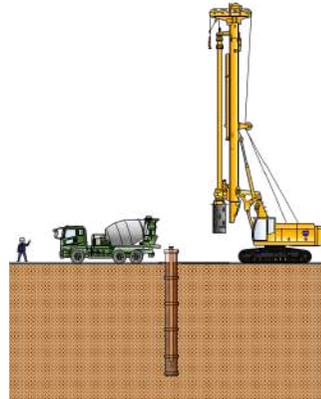
継足するケーシングへ本体機を寄せ、ケーシングとドレッテラーをロックピンで固定する。

5 ツールズ削孔 (オーガ削孔)



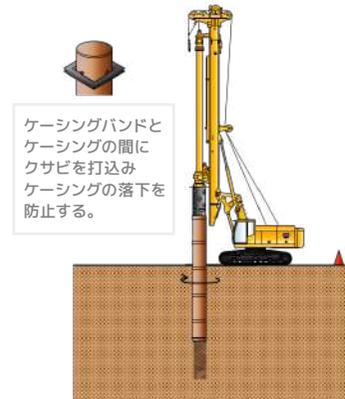
ツールスを装着しケーシング内部のガラ・残土を削孔する。
(障害によってツールスを使い分ける)
④、⑤を繰返し予定削孔長まで削孔する。

6 流動化処理土打設



ケーシング内にトレミー管を建込み、ミキサー車より流動化処理土を打設する。

7 ケーシング引抜き



ケーシングバンドを設置し、ケーシングを回転させながら引抜く。

8 地盤改良・鉄板養生



必要に応じて改良材を混ぜ、表層の地盤改良を行う。
地盤改良後、敷鉄板にて養生をする。